



# 戦国実力派宣言

## ～戦国期下総地方の城と合戦～

下総の守護大名千葉氏は戦国時代まで存続しましたが、本来の宗家を滅ぼした馬加系千葉氏が宗家になり、元の宗家の一族は武蔵国に逃れました。そして、もともと千葉氏の家臣だった原氏、高城氏といった勢力が台頭します。また小弓公方足利義明も、生実を拠点に関東の覇者を目指しました。

その下総地方には、国の史跡になった下総千葉氏の本佐倉城、戦国時代の途中で臼井氏から原氏に城主がかわった臼井城、高城氏が拠点とした小金城があり、境根原合戦や臼井城をめぐる攻防、国府台合戦といった合戦も行われました。

下総千葉氏、武蔵千葉氏、上杉氏、古河公方足利氏、小弓公方足利氏、後北条氏、里見氏と様々な勢力が、戦国時代に激突し、攻防を展開した下総。特に鎌倉時代からの名門千葉氏に関わる戦国の実力派の人々について、考えてみたいと思います。



下総千葉氏（馬加系千葉氏）の居城本佐倉城跡（酒々井町）



本土寺過去帳で合戦があったことが分かった幸谷城跡（柏市）

日時： 2019年 7月28日(日) 13時～15時まで (12時30分開場)

場所： アミュゼ柏 会議室 C

柏市柏6丁目2-22 ⇒ アクセス: 柏駅東口より徒歩7分

講師： 当会より

費用： 会員 100円 会員外 300円(資料代など)

その他： 駐車場は隣接してありますが、有料です。

主催： 手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会

【お問合せ先】

E-Mail : info@matsugasaki-jo.net TEL : 090-3579-5185 森 (平日は18時以降で)

会誌「水辺の城」第3号  
現在頒布中

